

## 未評価 カヤツリグサ科

ヒメカンガレイ *Scirpus mucronatus* L.

【選定根拠】 確認されず現状不明である。

【形態】 抽水～湿地性の植物。草高40～70cm、茎は鋭い三稜形。小穂は卵形、長さ7～10mm。カンガレイに似ているが、全体カンガレイより小形で、果実の刺針状花被片が果体より短く、葯がより小さい点で異なる。多年草。

【分布】 本州(中部以南)、四国、九州、朝鮮、中国、中央アジア、ヨーロッパに分布する。

【県内の分布、生育状況】 福島県植物誌(1987)に金山町の記録があるが、標本の所在、具体的場所が不明。その後確認されず現状不明である。

【主要文献】

福島県植物誌編さん委員会．1987．福島県植物誌．481pp．福島県植物誌編さん委員会．いわき．

## 未評価 ラン科

ヒメミズトクボ(オゼノサウトクボ) *Habenaria linearifolia* Maxim. var. *brachycentra* H. Hara

全国カテゴリー；絶滅危惧 A類

【選定根拠】 確認されず現状不明である。

【形態】 日当たりの良い湿地に生える多年草、茎は楕円形で高さ30～40cm、8月に白色の花を5～7個総状につける。側がく片は5mmで湾曲した斜卵形、唇弁は10mm、距の長さ15mm。側裂片はわずかに下向き、先は次第に太くなる。側花弁は半切三角形で側がく片より少し短い。唇弁は淡緑色で3裂して十字形をなし、裂片は線形、中裂片は全縁である。

【分布】 北海道、本州、四国、九州、国外では朝鮮、中国、東シベリアに分布する。

【県内の分布、生育状況】 尾瀬に記録があるが、その後確認されず現状不明である。

【主要文献】

埼玉県環境生活部自然保護課．1998．さいたまレッドデータブック(植物編)．埼玉県．

## 未評価 ラン科

ムカゴソウ *Herninium lanceum* (Thunb.) Vuijk var. *longicrure* (Wright) H. Hara

【選定根拠】 確認されず現状不明である。

【形態】 湿った草地に生育する地性ラン。根は楕円形。茎は細く高さ20～45cm。茎中部に広線形の葉を3～5枚互生する。葉長さ8～20cm。鋭頭、全縁、基部は茎を抱く。花期は6～8月。茎上部に淡緑色の小花を多数総状につける。がく片は2～2.5cm、長楕円形。側弁は線形、がく片は側弁より少し長い。

【分布】 北海道から沖縄まで分布。国外では中国、台湾、朝鮮に分布する。

【県内の分布、生育状況】 相馬市磯部、いわき市長浜に記録があるが、その後確認されず現状不明である。

【主要文献】

福島県植物誌編さん委員会．1987．福島県植物誌．481pp．福島県植物誌編さん委員会．いわき．

## 未評価 ラン科

ヒメノヤガラ *Hetaeria sikokiana* (Makino et F. Maek.) Tuyama

【選定根拠】 確認されず現状不明である。

【形態】 林床に生育する腐生植物。葉緑体を持たず腐物から栄養をとる。根茎太く横にはう。茎の高さは10～20cm、やや肉質無毛で、4～10mmの鱗片葉を互生する。花期は7～8月。茎上部に5～10個の黄褐色の花を総状につける。がく片は2.5～4.5mm、側弁は狭長楕円形。唇弁は6mm、下部は膨れる。

【分布】 本州(岩手県以南)から九州。

【県内の分布、生育状況】 いわき市遠野町に記録があるが、その後確認されず現状不明である。

【主要文献】

福島県植物誌編さん委員会．1987．福島県植物誌．481pp．福島県植物誌編さん委員会．いわき．